

次世代IPネットワーク推進フォーラム 第2回技術部会会合 議事録案

日時:平成19年3月20日(火) 13:00~14:15

場所:明治記念館 1階 若竹

出席者

技術部会長 後藤滋樹(早稲田大学) 他60名程度

総務省

通信規格課 田中課長

電気通信技術システム課 渡辺課長、荻原課長補佐、谷口官

事務局

情報通信研究機構 大堂主任研究員

配付資料

資料1:相互接続WGの活動状況について

資料2:技術基準検討WGの活動状況について

資料3:情報通信審議会 IPネットワーク設備委員会の検討状況について

参考資料1:技術部会(第1回)議事録

参考資料2:技術部会 設置要綱

参考資料3:技術部会 構成員一覧(平成19年3月13日現在)

資料2別添:次世代IPネットワーク推進フォーラム技術部会
技術基準検討WG報告書(平成18年10月)

議事内容:

1. 開会 [事務局]

2. 総務省挨拶

(1) 渡辺課長

技術部会は昨年1月に発足し、2つのWGを設置して検討を進めてきたが、その内容を踏まえ、この1月に一部答申としてまとめることができた。

また、この一部答申においては、技術的な課題が挙げられた。今後とも、具体的な検討をお願いしたい。

3. 配布資料確認

事務局により、配布資料の確認がなされた。

4. 議事

(1) 相互接続 WG の活動について

資料1に基づき、相互接続 WG・中野リーダーより説明。

(2) 技術基準検討 WG の活動について

資料2に基づき、技術基準検討 WG・栗野リーダーより説明。

(3) 情報通信審議会の検討状況について

資料3に基づき、総務省電気通信技術システム課荻原課長補佐より説明。

質疑：

質問：品質機能の確保において、音声品質の基準に関する検討がなされている。従来の電話ではコールセットアップタイムなどの技術基準の検討がなされてきたが、今後検討の必要はないのか。

栗野リーダー：IP の現行品質基準における問題は遅延であるため、IP 網同士の接続に関する議論を中心に行ってきた。次世代 IP ネットワーク間の接続、実装が進んだ場合の端末間接続など、新たな課題も出るだろうが、現時点では遅延が最も大きな課題であった。

後藤技術部会長：ユーザから見て繋がるまでの時間は、SIP サーバの構成、どれぐらい DNS を引くか等、作りに依存する部分があるため、基準として決める段階ではないと感じる。検討すべき項目としては含まれているという認識である。

(3) その他

後藤技術部会長：本件に関しては柔軟な体制で議論を進めているが、それだけに課題も多く緊急度も高いということであろう。最近のマスコミの報道も、IP の技術は未熟であるというスタンスと、立派なはずの IP が障害を起こすのかというスタンスとがあり、世の中の理解も一通りではない、技術的な面から社会の要請に応えることも重要である。今後とも皆様のご協力をお願いしたい。

次回の技術部会合は、年内を目途に開催予定。具体的な日程については、各 WG の検討状況を踏まえて決定したい。

5. 閉会 [後藤技術部会長]

以上